

(需要動向)

(算出方法)

【小麦】

(単位：万トン)

年度	総需要量
平成28	583
29	582
30	573
令和元	570
2	554
3	554
4 (見込み)	558
5 (見通し)	562

総人口がやや減少に転じているが、
1人当たり消費量が安定しており、
需要は大きく変動していない

新型コロナウイルス感染症の影響により、
外食等の需要減から需要が減少

外食等の需要回復から需要は回復基調

【令和3年度まで】

過去7年間の平均により算出

【令和4年度】

直近3年間の平均により算出
(令和2・3年度+令和元年度)

【令和5年度(案)】

前年度と同じ対前年度比
により算出

【大麦・はだか麦】

(単位：万トン)

年度	総需要量
平成28	34
29	34
30	36
令和元	35
2	35
3	32
4 (見込み)	31
5 (見通し)	33

総人口がやや減少に転じているが、
1人当たり消費量が安定しており、
需要は大きく変動していない

(主食用)

もち麦ブームが落ち着いたことから、
減少傾向

(焼酎・麦茶用)

焼酎の家庭内需要や麦茶のノンカフェ
イン需要により、増加

(発泡酒等用)

外食需要が、令和3・4年度には減少
した後、令和5年度は回復の見込み

【令和4年度まで】

過去7年間の平均により算出

【令和5年度(案)】

過去7年間の平均(34万トン)に近年の
主食用の需要減を考慮した算出